

おおぐち社協だより 年4回発行(4月・7月・10月・1月)第104号

第70回 赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール



大口南小学校5年 大森 怜佳



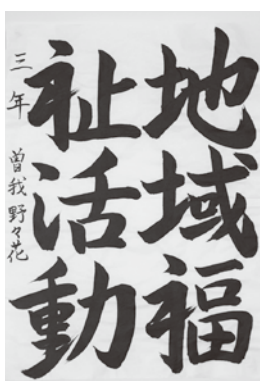
大口北小学校5年 有満 心春



大口中学校2年 岡崎 陽菜



大口北小学校6年 太田 ゆりあ



大口中学校3年 曽我 野々花



大口中学校3年 下川 床 凌空

●赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール
学校推薦作品40点の展示予定

日程	場所
9月26日(水)～ 10月9日(火)	健康文化センター1階 町民ギャラリー
10月11日(木)～ 10月24日(水)	アピタ大口店2階
11月3日(土)	ふれあいまつり2018 ふくしわくわくランド ※雨天時は健康文化センター2階 社協事務局前

大口町共同募金委員会の第一次審査により、書道3点・ポスター3点を入選作品として、愛知県共同募金会へ推薦しました。

CONTENTS

- ② ★生活支援サービスおたすけ隊
- ④ ★大口町の「住まい」特集
町内福祉施設見学バスツアー
- ⑥ ★平成29年度社協決算報告
- ⑦ ★平成29年度社協事業報告
- ⑧ ★大口子育て情報ぎゅっと
- ⑨ ★介護豆知識
- ⑩ ★ボランティア情報局
- ⑫ ★ひとり親家庭夏休み日帰り旅行
★大口中学校JVC
★子育てサロンまむ*まむセタイイベント
★平和学習会「語り部の会」
- ⑬ ★大口町防災講演会
★児童・生徒の県外自然体験学習事業
- ⑭ ★赤い羽根共同募金
★西尾張ブロックボランティアフェスティバル
- ⑮ ★善意だより
★災害義援金のご報告
★ダイハツTanTo車いす車両貸出
- ⑯ ★手話ボランティア養成講座
★介護者のつどい
★重度障がい者日帰り旅行
★心配ごと相談 開設日程

社会福祉法人

事務局

ホームページ

Eメール

大口町社会福祉協議会

月～金(土日祝・年末年始休) 8:30～17:15
電話 (0587)94-0060 FAX(0587)94-0059
〒480-0126 大口町伝右一丁目35番地
大口町健康文化センター(ほほえみプラザ)2階

<http://www.oguchi-shakyo.or.jp>

chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp



生活支援

平成30年10月17日(水) より
利用相談の受付開始

おたすけ隊サービス

非営利・低料金、会員制のたすけあい活動です。

足腰が弱ってきたり、ケガや病気をしたりして、生活でちょっとした困りごとがあっても、手伝ってくれる人がいない…そんなとき、住民の方がお手伝いするサービスです。
利用する方も協力する方も会員登録をしていただき、社会福祉協議会職員がコーディネートします。



会員の対象者

※詳しくは社会福祉協議会までお問合せください。

種類	対象者
利用会員	大口町にお住まいの高齢者、障がい者などの方で、 ・ひとり暮らしの方 ・高齢者だけで生活している方 ・同居家族があっても、手伝ってもらうことができない方
協力会員	健康でおたすけ隊の活動に協力いただける地域住民の方 (大口町内・町外は問いません)

利用料

※社会福祉協議会発行のチケットで利用料を支払うチケット制です。

区分	利用時間数	利用料
サービス	1回 20分以上80分以内	協力会員1人につき 20分 200円
短時間サービス (ごみ出しなど)	1回 10分以内	1回 100円

サービスの内容

協力会員が、利用会員のご自宅に訪問して行う在宅サービスです。
住民どうしのたすけあいで、ちょっとした困りごとのお手伝いをします。

- ・調理、掃除、ごみ出し、買い物代行、電球・電池の取替、ボタンつけなどちょっとした家事
- ・書類の代読・代筆、郵便物の投かん・受取などのお手伝い
- ・話し相手、安否確認、見守りなど



おたすけ隊サービスの流れ

窓口・電話・FAXで
受け付けます



まずは、社協へ
お気軽にご相談
ください!

利用会員

- 1 社会福祉協議会の窓口・電話・FAXで、利用の相談をします。
- 2 職員がご自宅に訪問し、詳しくお話を聞きます。会員登録とサービスの利用申込みを行います。
- 3 職員にチケット代を支払い、チケットを受け取ります。
- 4 職員から、サービス日時の連絡を受け取ります。
- 5 サービスの利用後、利用時間数分のチケットを協力会員に受け渡します。

社会福祉協議会職員



協力会員

- 1 社会福祉協議会の窓口で、会員登録をします。
- 2 職員から、電話でサービスの依頼を受け取ります。
- 3 初回は職員が同行し、利用会員のご自宅を訪問します。
- 4 サービスの活動後、利用時間数分のチケットを利用会員から受け取ります。
- 5 月1回、チケットをまとめて社会福祉協議会に提出し、利用料を受け取ります。

※チケットは、100円券10枚綴りで、1冊1,000円です。チケット代(利用料)は、すべて協力会員に支払われます。

相談・お問合せは、社会福祉協議会まで

電話 0587-94-0060
FAX 0587-94-0059

大口町伝右一丁目35番地
健康文化センターほほえみプラザ 2階
平日月曜日から金曜日
(土日祝日・年末年始を除く)
午前9時から午後5まで
協力会員随時募集中!



サービス付高齢者住宅ゴールドエイジ大口



デイサービスゆい



軽費老人ホーム一期一会荘

耳寄り情報をあなたにも。知ったときゃ損はせんよ～！

施設見学レポート

初

サービス付高齢者住宅 ゴールドエイジ大口



ゴールドエイジ大口は、今年4月にオープンしたばかりの新しい施設。サービス付高齢者住宅と介護付有料老人ホームの違いを施設長の橋本さんに教えていただきました。

「ゴールドエイジのようなサービス付高齢者住宅は、生活支援と安否確認のサービスがついている住まいで、日中の介護を必要としない元気な方が入居できます。生活支援とは、掃除や洗濯などのちょっとしたお手伝いのことで、安否確認とは、夜間の巡視を含めた見守りのサービスになります。

これに対して介護付有料老人ホームは、24時間介護スタッフが常駐し、掃除や洗濯などの身の回りの世話や、食事や入浴などの介護を必要とする方でも入居できるという違いがあります。」

デイサービスゆい



ゆいは、築40年の古民家を改装した、家庭的な雰囲気が特徴のデイサービス。高齢者のデイサービスのほかにも、「共生ホーム結」として、障がい児・者のためのデイサービスや子どもの預かり保育も行っており、年齢や障がいの有無に関係なく、人とふれあうことができる場所になっています。

「おじいちゃんおばあちゃんが小さい子の相手をしてくれる…それが一番のリハビリなんです！」と施設長の水野さん。人と人とのふれあいを大切にされているそうです。

軽費老人ホーム 一期一会荘



一期一会荘の給食を試食！



この日のメニューはきしめんでした。

一期一会荘は、身の回りのことはできるけれど、家庭の事情などで、自宅にて生活することができない60歳以上の人のための施設。

「高齢で少し介助が必要な方もいれば、まだまだお元気で買い物が出て外出する人や、外へ働きに行く方もいます。皆さん、自由にお過ごしいただいています。」と荘長の遠藤さん。

ひとりで暮らす高齢者の方は、買い物に行くのも一苦労…あわせて栄養面も心配ですね。一期一会荘は、管理栄養士さんが作った献立を厨房で調理。1日3食、おいしくてバランスの良い食事が提供されます。

旬の食材を使ったり、日にちの語呂に合わせたメニュー(例:7月10日は納豆の日!)が出たりと、入居者の方に喜んでもらえるよう工夫されているそうです。



大口町の「住まい」特集

もしも、自分が家で暮らせなくなったら…？

高齢になっても、病気や障がいを持っても、住み慣れた大口町で安心して暮らし続けるには、住まいが誰にとっても関心事。自宅以外に住めるところって、どんなところがあるのでしょうか？

①介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

要介護3以上の方が入所して生活する施設。費用は、所得の低い方も利用しやすいように配慮されている。

▼特別養護老人ホーム 御桜乃里

②介護老人保健施設

要介護1～5の方が入所し、医療や介護を受けながらリハビリをして在宅復帰を目指す施設。費用は、一般に特養より高いことが多い。▼さくら荘

③ケアハウス・軽費老人ホーム

60歳以上で概ね健康であるが、独立して生活することに不安のある方が入居する施設。費用は有料老人ホームよりも低い。▼御桜乃里ケアハウス、軽費老人ホーム一期一会荘

実際に見てみたい方は、施設見学バスツアーがおすすめです！



④住宅型有料老人ホーム

自立・要介護度に関わらず、高齢者が入居できる施設。介護は外部サービスを利用。費用は一般に高い。

▼太郎と花子、Kラインケアレジデンス

⑤グループホーム

要支援2以上の認知症高齢者の方が、共同生活する住まい。費用は施設により異なるが、特養より高いことが多い。▼大口ケアセンターあかり、じゃがいもグループホームしん・かむおん

⑥サービス付高齢者住宅

自立または軽度の要介護の方が利用する賃貸借契約の住まい。費用は施設により異なるが、特養より高いことが多い。▼ゴールドエイジ大口

⑦その他の高齢者向け住宅

要介護の方も入居。▼みつばのシルバーハウス大口

町内福祉施設見学バスツアー



赤い羽根共同募金配分金事業

「参加して良かった。」との声多数！

8月8日、小学生を含む参加者31名が町バスに乗って町内をぐるっとめぐり、14の施設を見学しました。

身近な地域の施設で、さまざまな人の暮らしを知り、福祉にあたたかい関心を寄せてもらうことが目的のツアーは、今年で5回目。初の施設内見学が1か所加わり、何度参加しても新しい発見があるツアーとなっています。

見学先の施設では、職員さんが丁寧に説明していただき、参加された皆さんは真剣にお話を聞いて、積極的に質問をされていました。



バスツアー参加者のみなさん 大口町健康文化センターの前で

平成29年度 社協事業報告

去る平成30年5月15日(月)に社会福祉協議会理事会、5月29日(火)に社会福祉協議会評議員会が開催され、平成29年度の事業報告と決算報告が承認されました。

なお、平成29年度の事業報告、財産目録、資金収支計算書、貸借対照表は、本会公式ホームページで公開しております。窓口で閲覧希望の方は、本会までお申下さい。

理事会・評議員会の開催

●理事会

第1回	平成29年5月15日開催
第2回	5月31日開催
第3回	2月27日開催
第4回	3月15日開催
第5回	平成30年3月30日開催

●評議員会

第1回	平成29年5月31日開催
第2回	3月30日開催

社協会員募集

●一般・賛助会員	4,844件
●法人会員	85件
●その他	23件
●会費合計金額	3,014,000円

広報・啓発活動

●「おおぐち協だより」を4月、7月、10月、1月の計4回発行

●ホームページを更新し、見やすい社協をこころがけ、事業を公表、事業の利用及び参加・協力の働きかけを実施

●大口町ふれあいまつりにおいて「ふくしわくわくランド」を開催
(スタンブラリー体験者 418名)

ボランティアセンター

●夏休みボランティア出前講座の実施
(参加人数 合計148名)

場所	月日	内容
西児童センター	8月2日	高齢者疑似体験うさぎとかめ
北児童センター	8月17日	災害救援ボランティア
南児童センター	8月24日	手話サークルコスモス

●ボランティア養成講座の実施

- ①おもちゃ図書館ボランティア養成講座(8月17日、8月24日 参加者数 延8名)
- ②点字教室サポーター養成講座(9月5日、9月12日 参加者数 延3名)

③運転ボランティア養成講座

(10月23日 参加者数 3名)

④レクリエーションボランティア養成講座

(11月15日、11月22日 参加者数 延27名)

●ボランティア研修会の実施

ボランティアセンター運営委員会、ボランティア連絡協議会合同研修を開催

平成29年7月14日(参加者数 30名)

●ボランティア保険加入及び事故時等の事務

ボランティア活動保険加入者数

団体 54団体(947名) 個人 5名

総加入者数 952名

(男性369名 女性583名)

事故件数 0件

●ボランティア派遣を調整

相談14件、派遣7件

うち、学校からの依頼によるボランティア派遣 1件(尾北看護専門の講義に高齢者疑似体験うさぎとかめを講師として派遣)

●西尾張ブロックボランティアフェスティバルを開催(参加者数700名)

児童福祉

●町内小中学校と協働で、福祉教室(福祉実践教室・総合学習)を実施し、福祉教育を推進

(参加児童・生徒数 延1,037名)

●子育て支援サークルの活動支援

●おもちゃ病院「おおぐち」の支援

●青少年等ボランティア福祉体験学習事業の実施協力

(大口中学校JVC参加生徒数 延78名)

●民生委員児童委員が行うドアノッキング事業の実施協力し、赤ちゃん訪問時にお祝い品をプレゼント

(5ヶ月訪問 252名、1歳訪問 247名)

●福祉施設見学バスツアーを開催(参加者数19名)

高齢者福祉

●85歳以上の単身高齢者・高齢者世帯に対し、大口町水彩画クラブ、民生委員の協力により、おせち料理配布事業を実施
平成29年12月30日

(配布数 55世帯)

●満88歳の米寿の方に対し、敬老のお祝い品と絵手紙、メッセージカードを贈呈

(配布数 55名)

●介護者向け情報『介護豆知識』を社協だよりに掲載

●認知症の人やその家族の支援として、認知症カフェ「オレンジカフェ・大口」の運営を支援

(参加者数 延334名)

●大口町高齢者軽度生活援助事業(ホームヘルパー)、大口町生きがい活動支援通所事業(デイサービス)、大口町はつらつ健康体操事業(いきいき教室)を受託の受託

障がい児者福祉

●第33回大口町障がい者スポーツ大会の実施

(6月3日 参加者数 305名)

●重度身体障がい者日帰り旅行の実施

(10月20日 参加者数 18名)

●おもちゃ図書館さくらの活動支援

●大口町障がい者等地域生活支援事業(移動支援事業)の受託

●「フリースペースれんげそう」の運営支援

母子父子福祉

●ひとり親家庭日帰り旅行の実施

(8月5日 参加者数 18家族43名)

●母子家庭等に対する「母子父子自立支援相談」を開設

●母子寡婦福祉会の活動支援

●小学校、中学校、高等学校等入学のひとり親家庭を対象にお祝い金を贈呈(22件)

ふれあいサロン

●サロン設立初年度の備品助成

●サロン開催実績回数(上限24回)に対し助成

●サロンに対する行事保険の加入

●サロン活動に必要な備品の貸出

●サロンのPRや広報等ちらしを作成

●地域サロンの運営関係者が集い、情報交換を行う「ふれあいサロン連絡会」を実施
(12月14日 参加者数 8サロン17名)

サロン名	参加延人数
外坪区ほっこり	882名
大屋敷新田地区 いっぶく茶屋	379名
上小口萩島地区茶々会	159名
さつきヶ丘区サロンさつき	2,800名
さつきヶ丘区元気会	262名
大屋敷区にこにこ	517名
河北区陽だまり	562名
替地ふれあいサロン	119名
豊田どんぐりころころ	726名
フリースペース れんげそう	389名
忘れな草の会	278名
傾聴サロン笑桜会	123名
子育てサロン まむ まむ	1,529名
オレンジカフェ・大口	335名
合計	9,060名

福祉関係団体の育成・助成

●大口町身体障害者福祉協会、心身障害児(者)親の会、更生保護女性会、母子寡婦福祉会、保護司会、遺族会、尾北地区聴覚障害者福祉協会、大口しらゆり会への助成

共同募金事業

●共同募金運動を実施

・赤い羽根共同募金実績額

3,338,949円

・歳末たすけあい募金実績額

145,086円

●共同募金配分金事業の推進と充実

●募金機能付自動販売機を健康文化センター1階、軽費老人ホーム一期一会荘1階に設置

●災害復興義援金の募集・送金を実施(送金額合計 61,705円)

●赤い羽根共同募金バトンリレーを株式会社 青山製作所で実施

貸付事業

●生活福祉資金貸付制度の窓口業務(相談件数42件)

貸付状況 25件

●県くらし資金貸付の窓口業務

貸付状況 7件

●町くらし資金貸付

貸付状況 41件

●緊急一時支援

生活困窮者への緊急食糧支援として、フードバンクにより対応

相談事業

●心配ごと相談所の開設

(相談者数 延34件)

●総合福祉相談の窓口常設

(相談者数2件、金銭管理を含む相談支援利用者数5名 延218件)

日常生活自立支援事業

●福祉サービス利用に関する相談、

日常的な金銭管理サービス、書類や通帳等の預かりサービス

(相談7件、契約者数2名 延723件)

貸出事業

●わたがし機、ポップコーン機、松葉杖、福祉車両、車いす等の貸出サービス(総貸出件数 159件)

在宅福祉サービス3事業所の経営

●大口社協居宅介護支援事業所

(介護・介護予防)

●大口社協訪問介護事業所

介護・介護予防・障害者総合支援・社協独自・町委託事業(大口町軽度生活援助事業)

●大口社協デイサービスセンター

介護・介護予防・社協独自・町委託事業(高齢者生きがい活動支援通所、大口町はつらつ健康体操事業いきいき教室)

防災・災害事業

●大口町防災啓発事業を受託し、

・防災講演会を開催(参加者数 114名)

・家具固定ボランティア養成講座を開催(参加者数 12名)

●「[災害時相互応援協定]」に基づき、岩手県遠野市社会福祉協議会と合同で災害支援訓練、勉強会を実施
(7月9日、10日)

新しい総合事業

●地域の集いの場に参加し、情報収集、社会資源・ニーズの把握

●生活支援サービスの人材育成につながるボランティア養成講座の開催

●地域住民の交流の輪を広げる「地域ふれあい会食会」の開催を支援(6ヶ所)

生活支援体制整備事業

●大口町生活支援体制整備事業を受託し、生活支援コーディネーターとして、

・『大口町地域資源マップ』を作成・編集(2018年3月 大口町発行)

・生活支援に関連する講座・研修会を開催

・住民・関係団体行政等との連携をはかる各種会議・話し合いの場への参加

・地域包括ケアシステムの広報・周知

福祉関連事業

●大口町表彰式、大口町社会福祉協議会法人設立30周年記念事業を開催

社協会長表彰 3団体、3名

社協会長感謝 3名

法人設立30周年記念講演会

講師 西川ヘレン氏

●愛知県社会福祉大会

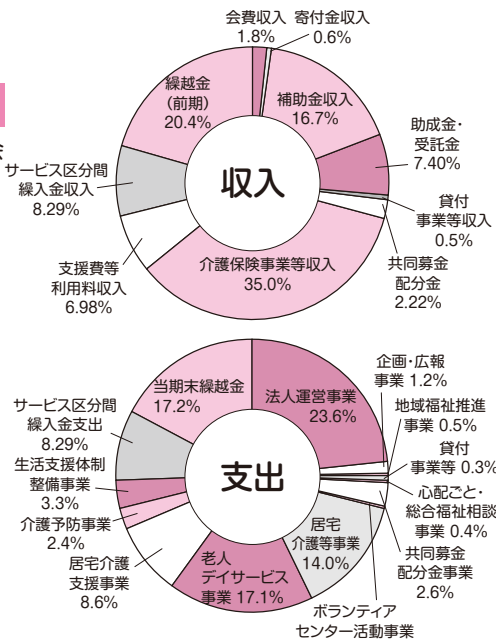
県社協会長感謝 6名

県共募会長表彰 1名

平成29年度 社協決算報告

項目	金額(単位:円)
会費収入	3,014,000
寄付金収入	1,000,557
補助金	27,227,000
助成金・受託金	12,057,150
貸付事業等収入	759,471
共同募金配分金	3,615,328
介護保険事業等収入	57,105,500
支援費等利用料収入	11,377,278
サービス区分間繰入金収入	13,500,000
繰越金(前期)	33,284,613
収入合計	162,940,897

項目	金額(単位:円)
法人運営事業	38,442,379
企画・広報事業	1,928,247
地域福祉推進事業	808,041
資金貸付事業	467,318
心配ごと・総合福祉相談・福祉サービス利用援助事業	605,908
共同募金配分金事業	4,486,755
ボランティアセンター活動事業	375,276
居宅介護等事業	22,946,598
老人デイサービス事業	27,936,644
居宅介護支援事業	13,990,548
介護予防事業	3,957,490
生活支援体制整備事業	5,449,315
サービス区分間繰入金支出	13,500,000
当期末繰越金	28,046,378
支出合計	162,940,897





人は思わぬ事故や病気・加齢による変化から毎日の生活の中で、出来ない事や不便な事、人に頼みたい事ができます。しかし、人に頼まず、自分自身で容易に行えるようになったら、日常生活をより快適に、より積極的に送ることができるようになるのではないのでしょうか？
今回は、そんな特別に工夫された道具「生活を補助する道具＝自助具」を紹介します。

自助具を選ぶポイント

- ①自分に合ってる。 ②メンテナンスがしやすい。 ③デザインが良い。 ④安価で購入できる。

生活をより豊かにする自助具たち

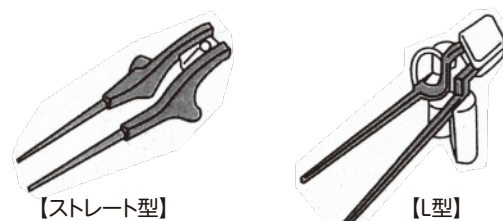
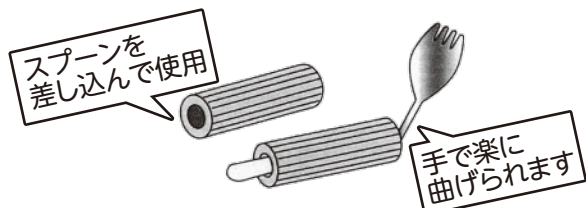
◆(食事)

箸

ピンセットのようにつまんで使える箸や握りの部分が工夫された箸があります。

スプーン・フォーク

握りから出ている部分を自在な方向に曲げられます。太い柄に差し込んで握りやすくすることもできます。

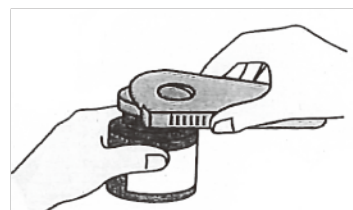
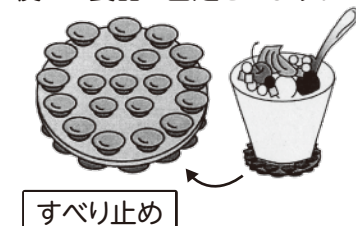


スプーンを握る事ができない場合はバンドで手に固定するホルダーを利用すると便利です。

スプーンで食物を集めやすく
すくいやすい形に工夫された
食器があります。

食器等が滑って困る場合は両面
が吸盤になっている滑り止めを
使って食器を固定させます。

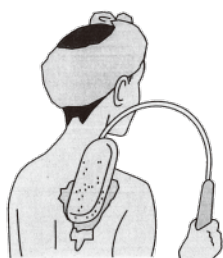
びんのふたを軽い力で開けられます。



◆(お風呂)

手が届かないところを
洗うことができます。

長柄スポンジ
他にも、背中洗い用
U型ブラシ、わん曲型・
長短ブラシもあります。



◆(トイレ)

拭きたくても届かない
場合はトイレ紙ペー
パーを巻きつけること
で拭くことができます。

トイレエイド



大口子育て情報

ぎゅっと

【編集】大口町NPO登録団体

「まみーぽけっと」

【HP】<http://www.geocities.jp/mammypocket2003/>

5月に北保育園において(社)尾北医師会と大口町子育て支援センターにご協力いただき「小児科の先生の話聞く会」を行いました。江南厚生病院の副院長兼こども医療センター長の西村直子先生から「子どもの健康と安全」について貴重なお話をしていただきました。託児つきだったので、お母さんたちはゆっくり話を聞くことができました。

熱が出た!

急な発熱はよくあること。子どもの体温は成人より高く、室温・衣類・活動に影響されやすい。病院へ行くのは、3日以上熱が続いたとき。熱以外の症状(下痢・腹痛・ぐったり)があるとき。

家庭での対処

- ・水分をこまめにとる(お茶・湯ざまし・果汁・スープ)
- ・イオン飲料は飲みすぎに注意!
- ・体を冷やす(首・脇の下が効果的)
- ・熱型表をつけよう(熱のグラフをつける。右下がりなら治っていく途中と考えてよい)

ひきつけ(けいれん)を起こした!

- ・まずは落ち着くこと!平らなところに寝かせて様子をみて、顔を横に向け、衣類をゆるめる。
- ・スプーン、指などを口に入れない。
- ・ゆすったりたたいたりしない。
- ・3分ぐらいでおさまればよい。
- ・おさまったら体温を測る。
- ・5分たってもおさまらないときは救急車を呼ぶ。
- ・初めてのとき、何度も繰り返すときは、病院へ。

熱性けいれんとは?

38度以上の発熱。6～60ヵ月の乳幼児に起こる。初めて熱性けいれんを起こしたときは病院へ。

吐いた!下痢した!

- ・急性胃腸炎による嘔吐が多い。
- ・1才前後に多い、ロタウイルスはワクチンがある。
- ・腹痛の原因は便秘が一番多い。
- ・吐くときの対処は、湯ざまし・お茶・イオン飲料を少量ずつ与える。ぬるめのものがよい。
- ・下痢のときの食事は、重湯・野菜スープ・味噌汁・リンゴのすりおろし・お粥・豆腐がよい。

病院に行くのは?

- ・嘔吐・下痢の回数が多い。
- ・体をまるめるぐらい痛がる。
- ・ぐったりしている。血便がでるとき。

病院への上手なかかり方～行く前に確認しましょう～

- 食欲はあるか?水分は取れているか?
- 機嫌はどうか?元気はあるか?
- 体温は?
- うんち・おしっこの回数は?
- いつから症状が続いているか?

こんな質問がありました

Q.胃腸炎のとき、イオン飲料を飲ます目安は?

A.飲みすぎに注意。OS1のほうがよい。普段からイオン飲料をたくさん飲むのはやめたほうがよい。

Q.かかりつけ医を選ぶときのポイントは?

A.近いほうがよい。ママ友の評判を聞く。

Q.空気清浄機は必要ですか?

A.高額なお金を出すほどの効果はない。病院の中には置いてない。

子どもの事故!

- ・1歳までは室内、特にリビングでの事故が多い。タバコ・ボタン電池・錠剤の誤飲。
- ・お風呂のお湯はすべて抜くこと。数センチの残り湯でも溺れることがある。
- ・ベランダにはプランターや椅子を置かないこと。

●次回は、身だしなみを整える時につかうと便利な自助具を紹介します!!

問い合わせ先:大口町社会福祉協議会 (94-0060):なごや福祉用具プラザ(052-851-0051)
福祉用具の選び方(編集:なごや福祉用具プラザ 発行:(株)大井企画)より出典

災害救援ボランティア

毎月第3土曜日午前9時30分から12時まで、健康文化センターボランティア室にて活動

8月10日(金)、西児童センターにて、70人近い参加者でおこなわれました。災害時に役立つ「もやい結び」、新聞紙で作る簡単スリッパ、ケガをしたときの応急処置として三角巾の使い方などをおこないました。



うしろは、大丈夫？

70人近い子どもたちと楽しくできました

3分の1のところを折るんだよ



うんうん、あってるよ



ロープから手をはなしちゃだめよ



大口おもちゃ図書館 さくら

毎月第2土曜日、第3木曜日、午前10時から午後3時まで、健康文化センターおもちゃ図書館にて活動

8月17日(金)、北児童センターにて、20人の参加者でおこなわれました。いろいろな特徴のあるおもちゃの紹介をしたあと、気になるおもちゃで遊びました。あまりにも一生懸命遊ぶ姿に、予定していたペープサートは、次回にして、遊びタイムを延長しました。



順番を守れて、すごいね



このおもちゃは20年前のだよ



手でさわってみてごらん



最後は、みんなと握手ね



毎年、新しいおもちゃのために東京にも行きますよ

レクリエーションボランティアここね

奇数月第3水曜日午後1時30分から3時まで、健康文化センターボランティア室にて活動

8月23日(木)南児童センターにて、45人の参加者でおこなわれました。「ここね」さんにとって初めての出前講座でしたが、気功を取り入れた武術遊び、牛乳パックで作った輪を積み上げていく「ツムツムタワー」、野菜当ての紙芝居と盛りだくさんでした。



高くつんだね。何センチかな？

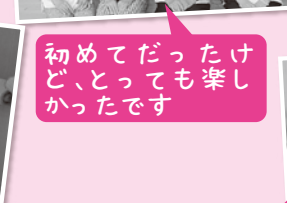
初めてだったけど、とっても楽しかったです



この野菜はな〜んだ



気功は、初めてなのね



歌いながら手も使うよ



ボランティア出前講座

夏休み恒例のボランティア出前講座。暑かった夏の思い出も吹っ飛ばすほど、ボランティアさん大活躍！

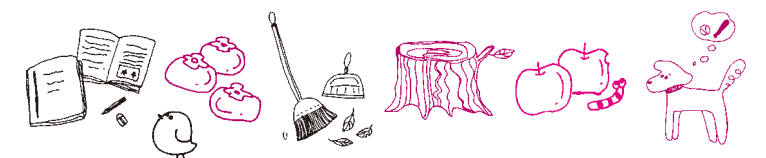
ボランティア情報局

大口町ボランティア連絡協議会・ボランティアセンター合同研修会

7月13日(金)、大口町ボランティア連絡協議会とボランティアセンターの合同研修会が、犬山市市民活動支援センター「しみんてい」で、おこなわれました。「しみんてい」理事長の川島紀之さんから、「しみんてい」の設立や機能について、現在おこなっている事業、「市民活動交流フォーラム」「城下町祭り」「うた声サロン」「犬山子ども大学」などについての講演を聴きました。大口町ボランティア連絡協議会の本年度のテーマ「ボランティアの力をつけよう、そして仲間を増やそう」に、どう生かしていけるのかを学びました。



「会員みんなでサークルを運営する意識を持ってください。それには、知り合いを増やすこと、何かあったらお互いに応援しあうことが大事です。そして、ボランティア活動は、町が元気になるのでぜひ頑張ってください!」と、川島氏。



「しみんてい」は人材育成と団体援助に力を入れているんですって。

人材育成では、ファシリテーターの育成講座をおこなって、レベルアップを図っているらしいよ。

ファシリテーターって？

ボラ活動がうまくいくために、中立な立場で上手に支援していく人のことだったよね。

団体援助では、コーディネーターが常駐して、いつでも相談にのってくれるんだって。

「しみんてい」のことを知りたかったから、参加してよかった。参考にします!



ボランティアの力をつけよう、そして仲間を増やそう

「子ども大学」の講師も、全員ボランティアでおこなってるんだって。

7/14 大口町防災啓発事業 大口町防災講演会

こどもの命を守るために 忘れない防災リレーと防災教育

7月14日、健康文化センター4階ほほえみホールで、宮城県の菅原 淳一氏をお招きし、防災講演会を開催。西日本豪雨災害後の講演会とあって、150名の参加者が熱心に聞き入りました。

菅原氏は、東日本大震災の津波の犠牲となった幼稚園児・佐藤愛梨ちゃんの見つかった場所に咲いた花を、忘れない防災のシンボルとして全国に広げるプロジェクトを進行中。

「1番の防災は、忘れないこと。大口町でも奇跡の花を広げ、忘れない防災に役立てて欲しい。」と語り、持参した花の種を参加者に配布しました。

さらに、防災アドバイザーの立場から、「防災は大げさでいい。緊急災害時は、ひとりの判断で行動することは危険!三人寄れば文殊の知恵、周りの人と知恵を出し合って判断し、自分たちの力で乗り切るしかない。」と、震災の教訓を生かしたアドバイスがありました。

講演会の終わりには、大口町の子ども向けの防災教育が続けている災害救援ボランティアのみなさんが、子どもたちが自分でできる命綱の結び方や、防災グッズの作り方、炊き出しの方法などを伝える取り組みを発表しました。

参加者からは、「こどもの命という視点で、改めて防災を考えることができた。」「災害救援ボランティアの活動を知ることができた。」などの感想が寄せられました。



フランスギク「あいりちゃん」を紹介する講師のアイリンブループロジェクト実行委員会代表 菅原 淳一氏



災害救援ボランティアの代表安藤氏と志村氏

8/27 後援／大口町社会福祉協議会

8/29 児童・生徒の県外自然体験学習事業



参加児童と民泊でお世話になった方々

町内に住む子どもたち11名が、岩手県遠野市と陸前高田市を訪れ、2泊3日の体験学習を行いました。

自然と接する機会が少なくなった子どもたちに、里山の暮らしや震災復興などを体験してもらい、大口町の将来を担う子どもたちが描く「まちづくり」の一助になることを目的とした本事業。

参加した子どもたちは遠野市の農家に宿泊し、現地の人々のぬくもりに触れ、「あたたかい気持ちになった」と言います。

また、被災地の陸前高田市では、巨大津波で奇跡的に残った一本松や追悼施設を見学し、復興までの道のりや、日頃からの防災に努めることの大切さを学びました。

7/3 子育てサロン まむ*まむ 七夕イベントを開催



子育てサロンまむ*まむでは、年に数回、季節に合わせて様々なイベントを企画しています。今回のテーマは『七夕』。

お母さんたちが笹を使って七夕かざりを作りました。お子さんのすこやかな成長を願い、それぞれ短冊に想いを込めます。

子育てサロンまむ*まむは、ママたちの集まる場所。誰でも参加でき、出入りも自由です。お子さんと一緒に、ゆったりとした時間、ゆったりとした空間を満喫しませんか？

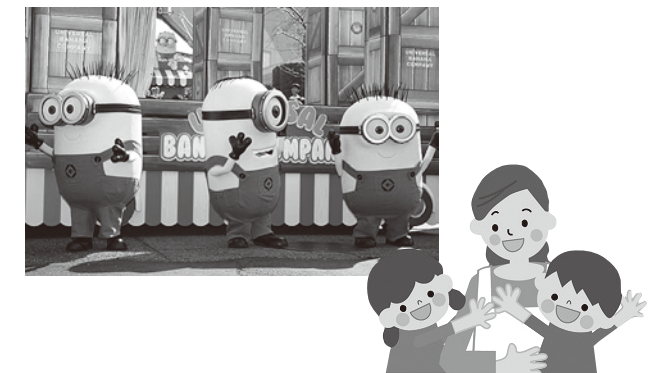
8/22 戦争遺族から中学生へ平和のメッセージ 平和学習会「語り部の会」



大口町遺族会は、大口町平和祈念式とあわせて町民会館で行う大口中学校平和学習会「語り部の会」(中学2年生対象)に講師を派遣しており、社協が協力しています。

今回は、大口町在住で、大口町遺族会顧問の水野清胤(みずの きよたね)さんが講師となり、戦死した父と残された家族の戦争体験や、当時の貧しく過酷な時代背景について語られました。戦争によって家族の人生が変わってしまったこと、二度と戦争を起こさないためにも多くの人に戦争について知ってもらいたいことを、戦争遺族の視点で強調されました。

8/4 ひとり親家庭 夏休み日帰り旅行



今年は16家族41名の親子が参加され、大阪府のユニバーサル・スタジオ・ジャパンへ行ってきました。

天候に恵まれ、厳しい暑さの中での開催となりましたが、お子さんは皆、元気いっぱいにご遊ばされていました。

参加されたお子さんからは、「いつもは留守番ばかりだけど、今日はお母さんと一緒に過ごせて嬉しかった」お母さんからは、「なかなか子どもと遠出できる機会が無いため、いい思い出づくりができました。」との声が多数ありました。

8/18 大口中学校JVCの生徒たちが施設で 8/24 夏休み福祉体験



大口中学校JVC(ボランティア委員会)は「夏休み福祉体験」に参加し、町内の福祉施設でボランティア活動を体験しました。

これは、JVCの活動を社協が推進する青少年向けの福祉体験事業にあわせて実施しているもので、JVCの生徒たちが、福祉施設を利用する子どもや大人と交流を図りながら、福祉を学んでいく機会を提供するもの。

今年度は延137名の生徒が町内保育園や児童センター、高齢者施設で体験活動を行いました。

災害義援金のご報告

お預かりした災害義援金は、大口町共同募金委員会がお預かりし、被災された都道府県の共同募金会にそれぞれ送金しました。



大口中学校生徒会 様

平成30年7月広島県豪雨災害義援金

- 株式会社 巴製作所 様 500,000円
- 大口町部課長会 様 25,000円

平成30年7月豪雨災害義援金

(按分の上、各地の都道府県共同募金会に送金)

- 大口中学校生徒会 様 68,738円
- ヘルシーエイジングの会 様 16,000円
- 大口町補佐会 様 5,000円

平成30年大阪北部地震義援金

- 大口町部課長会 様 25,000円

受付窓口／問合せ先

大口町共同募金委員会(社会福祉協議会内) 電話 94-0060

善意だより

社会福祉に役立ててほしいと、大口町社会福祉協議会にあたたかい寄贈が寄せられました。厚くお礼申し上げますとともにご報告します。

順不同(5月30日～9月7日 取扱い分)

下小口盆踊り実行委員会 様 23,950円
伊藤 三代子 様 中古車いす1台

吉田 様
大口社協デイサービスへ
敬老お祝い品 花束41個



災害義援金受付中

- ①愛媛県豪雨災害義援金
- ②平成30年7月豪雨高知県災害義援金
- ③平成30年7月福岡県豪雨災害義援金
- ④平成30年7月豪雨災害義援金(中央共募)
- ⑤平成30年7月豪雨島根県災害義援金
- ⑥兵庫県平成30年7月豪雨災害義援金
- ⑦平成30年7月豪雨岡山県災害義援金
- ⑧平成30年7月広島県豪雨災害義援金
- ⑨平成30年7月豪雨災害義援金(京都府)
- ⑩山口県平成30年7月豪雨災害義援金

西日本豪雨災害義援金

その他

- ①平成30年大阪府北部地震義援金
- ②平成30年米原市竜巻災害義援金
- ③平成29年7月5日からの大雨災害義援金
- ④平成28年熊本地震義援金



ダイハツTanTo(タント)の車いす仕様車両 貸出が始まりました



社協だより平成30年7月号の「善意だより」に掲載しました寄贈自動車ダイハツ タント スローパーL SAⅢの貸出を開始しました。タントならではの広々スペースで、ゆったり快適。リモコン操作の電動ウインチで、車いすのスムーズな乗り降りができます。大口町にお住まいの車いす利用される方の送迎に、ぜひご利用ください!



貸出時は、操作の説明をします

貸出は事前予約が必要です

詳しくは、社会福祉協議会へお問い合わせください。

電話 94-0060 FAX 94-0059



じぶんの町を良くするしくみ。 赤い羽根共同募金

つかいみちの情報公開は 赤い羽根データベースはなっと 検索

10月1日から赤い羽根共同募金が始まります



毎年、共同募金運動に多くの町民の皆様のご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

今年度も、区長さんを通じて各家庭に寄付をお願いする「戸別募金」、企業や法人に寄付をお願いする「職域募金」「法人募金」、スーパー店頭での「街頭募金」などにより募金活動を実施いたします。

皆様から寄せられた募金の約87%は、大口町の福祉とまちづくりに役立てられており、残りの約13%は愛知県内の広域的な活動や各地の災害支援に活用されています。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

問合せ先 大口町共同募金委員会 電話 94-0060

平成30年度 赤い羽根共同募金目標額 **3,650,000円**

募金のつかいみちの一部をご紹介します

地 域福祉のために **高** 齢者の方のために **障** がいのある方のために **子** どもたちのために



ボランティア養成講座



ひとり暮らしの方へおせち料理配布



障がい者スポーツ大会



小中学校の福祉実践教室



ふれあいサロン



オレンジカフェ・大口



重度身体障がい者日帰り旅行



子育てサロンまむ*まむ

平成30年度 西尾張ブロック ボランティアフェスティバル

「伝われボランティア 見つけよう新しい出会い」

- 日 時 平成30年12月16日(日)
- 場 所 愛西市親水公園 総合体育館
- 内 容 ボランティア・障がい者福祉施設出展コーナー、交流サロンコーナー等
- 主 催 西尾張ブロックボランティアフェスティバル推進委員会
西尾張ブロック14市町村社会福祉協議会
- 問合せ 社会福祉協議会 電話 94-0060

一般の方も楽しみいただけます!

- 10:30~13:00 ブース出展等
- 13:30~15:20 ボランティア活動者による意見交換会

手話ボランティア養成講座

手話を始めてみませんか!

「手話に興味はあるけど、何から始めればいいのかかわからない。」「手話って難しそうだし…できるかな?」など、いろいろと不安な気持ちをお持ちの方へ。

手話ボランティア養成講座では、初心者の方に、優しく・分かりやすくお教えします。

この機会に手話を始めてみませんか!

■日 時 11月1日(木)から 平成31年1月31日(木)
午前10時から正午まで

毎週木曜日に開催、全12回

※12月27日、平成31年1月3日は
年末年始のため、お休みします

■場 所 ほほえみプラザ4階 ふれあい2ほか

■講 師 大口市話サークル 玉置 より氏

■協 力 大口市話サークル

■参加費 500円(テキスト代を含む)

■対象者 大口市にお住まいか、お勤めの方
(それ以外の方は要相談)

■申 込 窓口・電話・FAXで受付中

■申込先 社会福祉協議会

大口市伝右一丁目35番地

健康文化センター2階

電話 94-0060

FAX 94-0059



重度身体障がい者日帰り旅行 参加者募集

- 日 時 10月19日(金)
- 行 き 先 話題の通称モネの池と郡上八幡散策
- 対 象 者 身体障害者手帳1級・2級をお持ちの方
と介護者(内部疾患の方を除く)
- 交通手段 大型リフト付き観光バス(車いすご利用
の方も安心してお出かけいただけます)
- 募集定員 20名(定員になり次第締め切ります)
- 参 加 費 1人3,000円
- 申 込 10月12日(金)締切
- 申 込 先 社会福祉協議会 電話 94-0060

平成30年10月～12月分

心配ごと相談所開設日程

内容	母子自立支援相談 女性相談 10:00～15:30	女性相談 10:00～15:30
月		
10月	3日(水)	17日(水)
11月	7日(水)	21日(水)
12月	5日(水)	19日(水)

内容	高齢者・障がい者の 弁護士相談 13:30～16:30
月	
10月	24日(水)
11月	28日(水)
12月	26日(水)

※弁護士相談は 完全予約制です

相談時間はおおむね30
分間ですので、あらかじめ相談内容をまとめて
きてください。

予約受付 社会福祉協議会 電話 94-0060

介護者のつどい参加者募集

介護者どうして悩み事をお話したり、情報交換したりできる憩いの場です。

今年も介護者の方がリフレッシュできるよう、アロマハンドマッサージと茶話会を企画しました。

香りのよいアロマオイルジェルを使ったハンドマッサージや、ハーブティーを飲んで、「ほっ」と一息つきませんか?



■日 時 平成30年11月8日(木) 13:30～15:30

■場 所 大口市生きがい活動支援センター
(大口市伝右一丁目47番地)

■参 加 費 500円(お茶菓子付き、アロマ材料費込み)

■対 象 者 在宅介護をしている方

■募集定員 24名

■内 容 アロマハンドマッサージと茶話会

■講 師 一般社団法人 アロマハンドトリートメント協会
チーム Fika(フィーカ:スウェーデン語でお茶の時間)

■申 込 平成30年10月3日(水)午前9時から
窓口または電話で受付

■申 込 先 社会福祉協議会 電話 94-0060

